

上士幌町第2期SDGs未来都市計画(案)についての意見募集結果

令和6年1月31日

上士幌町第2期SDGs未来都市計画(案)について、町民の皆様からご意見を募集したところ、2件ご意見が寄せられました。

ご意見の要旨及びご意見に対する町の考え方については、次のとおりです。

※「意見に対する町の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

意見の概要	意見に対する町の考え方※
(株)karchに、売れる商品を作るつもりがあるのかどうかわからない。商品開発のプロを雇ってやり直してほしい。	<p>(株)karchでは、道の駅や地域で販売するオリジナル商品「上士幌みそ」「上士幌かりんとう」や、地元の高校生と連携して開発した「クラフトチョコレート」など、地場産品を活用した商品開発を進めているほか、ナイトテラスや糠平湖といった本町の観光資源を活用した体験型旅行商品の開発を行っています。</p> <p>本計画の取組を円滑に実施するためには、地域商社である(株)karchとの緊密な連携・協働が不可欠であることから、いただいたご意見につきましては、関係課部局とも共有し、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>
太陽光パネルを大量に設置するのは反対。町の景観が台無し。	<p>2021年11月に開催された気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)では、世界の平均気温の上昇を産業革命以前と比較して1.5℃に抑えることを事実上の目標とされ、そのためには、再生可能エネルギーの普及や省エネルギー、エネルギー効率の向上など、さまざまな対策が求められています。また、本町においても、2021(令和3)年12月24日には2050年までにCO2排出量の実質ゼロとする「北海道上士幌町ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、また、脱炭素先行地域の取組として、民生部門(家庭や事業所など)の電力を</p>

意見の概要	意見に対する町の考え方※
	<p>再生可能エネルギー化や省エネルギーとすることで、CO2 排出量実質ゼロを目指すこととしています。</p> <p>これらの取組の一つとして、一般住宅及び事業所に太陽光発電の導入を推進しております。住民や事業者が再エネ導入することは、地球温暖化対策や災害時（停電）の備えとして電力確保が可能と考えており、住民の安全・安心に繋がるまちづくりの施策と考えています。</p> <p>なお、本町でも年平均気温において40年あたり約2℃の割合で上昇しており、地球温暖化対策を着実に進める必要があります。</p> <p>町の景観配慮については、北海道で定めている太陽光発電所設置の景観形成ガイドラインを遵守し、環境や景観への影響に配慮した地球温暖化対策を推進してまいります。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-left: auto; margin-right: 0;">C</div>